研究に関する情報公開（オプトアウト）のお知らせ

掲示日：2026 年 6 月 21 日

研究課題名

手動真空吸引法（MVA）による子宮内膜ポリープ切除術の有効性・安全性に関する後ろ向きコホート研究

はじめに

にしかわウイメンズヘルスクリニックと札幌医科大学では、下記の研究を共同で実施しています。この研究は、過去の診療で得られた記録（情報）を用いる研究です。通常、このような研究では患者さん一人ひとりから直接同意をいただく代わりに、研究の内容を公開し、ご希望があれば研究への情報の利用を断る機会を設けています（オプトアウト）。研究への参加を希望されない場合は、下記の問い合わせ先までお申し出ください。お申し出により不利益を受けることは一切ありません。

対象となる方

にしかわウイメンズヘルスクリニックにおいて、2019 年 12 月から 2024 年 12 月までの間に、子宮内膜ポリープに対して手動真空吸引法（MVA）による処置を受けられた方。

研究の目的・意義

子宮内膜ポリープに対する MVA という外来で行える低侵襲な処置について、その有効性・安全性・再発の状況を明らかにし、今後の患者さんにとってより負担の少ない治療法の確立に役立てることを目的としています。

研究の方法

過去の診療記録から、年齢・症状・処置の内容・経過観察の結果などの情報を集め、まとめて分析します。新たに検査や処置を行うことはありません。

使用する情報と個人情報の保護

使用する情報は、氏名・生年月日など個人を特定できる情報を削除し、新たな番号に置き換えたうえで取り扱います。番号と個人を結びつける表はにしかわウイメンズヘルスクリニック内でのみ厳重に保管し、外部に提供しません。札幌医科大学の研究者が個人を特定することはできません。情報は厳重に管理し、研究結果は学術雑誌等で発表しますが、個人が特定される形で公表することはありません。

研究組織

研究代表者：札幌医科大学　産婦人科学講座　講師　真里谷　奨

共同研究機関　研究責任者：にしかわウイメンズヘルスクリニック　院長　西川　鑑

研究への利用を希望されない場合・お問い合わせ先

この研究への情報の利用を希望されない場合や、ご質問がある場合は、下記の窓口までご連絡ください（連絡先は札幌医科大学に統一しています）。

問い合わせ窓口責任者：札幌医科大学　産婦人科学講座　講師　真里谷　奨

電話：011-611-2111（代表）　内線 33680（産婦人科学講座教室）

（平日・休日・夜間いずれも同じ窓口で承ります）